

「萩まちじゅう博覧会」プログラム 募集要項

萩市では、まち全体を屋根の無い博物館に見立て、歴史的まちなみや豊かな自然景観などの“おたから”を保存・活用し、まちづくりや観光地づくりを行う「萩まちじゅう博物館」の取組を進めています。

令和6年にこの取組が20周年を迎えるにあたり、“おたから”を市民や事業者の皆様がさらに自ら活用し、観光やまちづくりにつなげていくことを目的とした、「萩まちじゅう博覧会」（以下「博覧会」という）の開催を令和6年度に実施します。

今回、博覧会のプログラムを企画・実施する事業者や団体等を募集します。各プログラムは、博覧会のパンフレットや専用ホームページでまとめて紹介し、来訪者に萩まちじゅう博物館を体感してもらい、萩の旅を楽しんでもらいます。

◆事業趣旨

市内事業者や団体が、萩まちじゅう博物館の“おたから”（自然／文化／産業／歴史）を活かした博覧会のプログラムを企画し、期間中実施する。そのプログラムを博覧会実行員会事務局が、パンフレットや専用ホームページでまとめて紹介し、情報発信と販売のサポートを行うことで、市民や事業者の更なるおたからの活用を推進し、まちづくりや観光地づくりにつなげる。

◆博覧会開催期間

- ・春期 令和6年5月17日（金）～6月2日（日） 全17日間
- ・秋期 令和6年10月18日（金）～12月1日（日） 全45日間

◆募集内容・件数

観光客と萩市民の両方を対象とした、萩まちじゅう博物館のおたから（自然／文化／産業／歴史）を活かしたのプログラムで、春期、秋期ごとに以下の内容・件数とする。

1.春期

- ・「ゆっくり、ゆったり、少人数で萩の希少を楽しむ」をコンセプトとする
- ・コンセプトに沿い、対象は少人数（1人～5人程度）で家族や友人、恋人等
- ・この季節ならではのもの（自然・景色・食など）を取り入れたものとする
- ・この期間限定の特別のプログラムとする。また下記の応募要件を満たすこと
- ・募集プログラム件数は15件程度

2.秋期

- ・「お気に入りをとことん楽しむ！萩を楽しめるプログラムが勢ぞろい」をコンセプトとする
- ・対象は少人数から多人数
- ・プログラムは期間限定で特別なものを条件とはしないが、下記の応募要件を満たすこと
- ・募集プログラム件数は50件程度

◆募集期間 ※春期と秋期で募集期間が異なりますので、ご注意ください。

- ・春期プログラム 2月15日(木)～2月29日(木)
- ・秋期プログラム 2月15日(木)～4月15日(月)

◆応募方法

萩まちじゅう博覧会ホームページの申込入力フォームで申し込み。または同ホームページからダウンロードできる申込用紙に必要事項を記入し、メールにてデータで萩まちじゅう博覧会実行委員会事務局へ提出

募集ページ URL : <https://hagi-machihaku.com/html/1739>



【メール送付先】萩まちじゅう博覧会実行委員会事務局（萩市まちじゅう博物館推進課）
アドレス : machihaku_jimu@city.hagi.lg.jp

◆応募要件

- 1.企画したプログラムが事業趣旨に合致していること
- 2.萩市内で開催されること
- 3.原則、現地集合、現地解散であること
- 4.下記の2点を満たしたプログラムであること
 - (1)「萩まちじゅう博物館のおたから」（自然／文化／産業／歴史）を活用したもの
※「萩まちじゅう博物館のおたから」の定義
 - ①本物であること
萩で生まれ、萩で育てられ、萩にあるもの又は関係するもの
 - ②一定の時間、継承されてきたものであること
世代を超えて継承されてきたもの、そしてこれからの世代に伝え渡していきたいと思えるもの
 - (2)ターゲットが明確なもの(何歳ぐらいの、どんな人に来てほしいか)

※企画提出後、詳細内容や体験料金などを当実行委員会と話し合いの上で決定させていただきます

- 5.プログラムは応募者が主体となって企画・運営し、責任をもって実施すること
- 6.春期と秋期及び同一期で複数のプログラムの応募は可能であるが、春期と秋期でまったく同一のプログラムは不可
- 7.反社会的勢力もしくはそれに関与する団体、個人でないこと
- 8.許認可申請を要する事業については、関係法令に従うこと
- 9.備品や運営スタッフなどプログラム実施に必要なものを応募者自らが手配できること
- 10.参加料が無料のプログラムについては応募不可
- 11.予め十分な対策を施し、安全に参加できるプログラムを実施すること。万が一事故等が発生した場合は、プログラム主催者の責任において対応すること
- 12.公序良俗に反するプログラムでないこと

※書類審査を行い、採用プログラムを決定します。プログラム内容により、応募の
断り、不採用又は内容の一部変更をお願いする場合があります

◆役割と仕組み

プログラムを企画・実施する主催者を、事務局が情報発信の面でサポートします。

【プログラム主催者】

- ・プログラムの企画
- ・当日の運営

【博覧会実行委員会事務局】

- ・「萩まちじゅう博覧会」ホームページ・パンフレットでの紹介、情報発信
- ・プログラムの企画／ブラッシュアップをサポート

◆注意事項

- 1.博覧会実行委員会事務局はプログラム実施にかかる資金や物品、人員、会場の優先予約などの補助は行ないません
- 2.プログラムの料金や内容等の調整のため、変更をお願いする場合があります
- 3.書類審査を行い、採用プログラムを決定します。また必要に応じてヒアリングを実施する場合があります
- 4.プログラム内容が開催趣旨に沿わないと判断した場合は、変更または中止を求めることがあります。その際、すでに経費が発生している場合についても、その費用はプログラム主催者の負担となります
- 5.天候やプログラム主催者の都合などでプログラムを中止する場合、参加者への連絡は主催者の責任で行ってください。その際、必ず博覧会実行委員会事務局にも連絡して

ください

- 6.必要に応じてイベント保険（賠償責任、傷害等）への加入をお願いします。万が一の事故やケガ・損害などを補償するものであり、参加費には、保険料を含めた金額を設定してください
- 7.本事業にて得た個人情報については、当事業に関するもの以外は使用しません。また、個人情報は厳重に管理します

◆今後のスケジュール（予定）

- 2月15日(木)～29日(木)：春期プログラム募集
- 2月15日(木)～4月15日(月)：秋期プログラム募集
- 3月中旬：春期プログラム審査・選定
- 3月中旬～：春期プログラム実施者ヒアリング、内容の磨き上げ
- 4月中旬～：春期プログラムパンフレット、ホームページに掲載
- 4月下旬：秋期プログラム審査・選定
- 4月下旬～：秋期プログラム実施者ヒアリング、内容の磨き上げ
- 5月下旬～：秋期プログラムパンフレット、ホームページに掲載
- 5月17日（金）～6月2日（日）：博覧会開催（春期プログラムの実施）
10月18日（金）～12月1日（日）：博覧会開催（秋期プログラムの実施）

◆問い合わせ先

萩まちじゅう博覧会実行委員会事務局（萩市まちじゅう博物館推進課）

TEL：0838-25-3290

FAX：0838-25-3142

MAIL：machihaku_jimu@city.hagi.lg.jp